

令和7年2月6日
危機管理部

世田谷区在宅避難支援事業の進捗状況について

1 主旨

在宅避難支援事業（せたがや防災ギフト）は、令和6年12月16日をもって申込みを締め切ったため、令和7年1月24日時点の実績等について、報告する。

2 本事業の概要

在宅避難の推進に向け、各家庭の災害時の備えを支援するとともに、区民の防災意識のさらなる向上を図るため、全世帯に対して防災カタログギフトを配付し、商品を配送する。（世帯主に対し、世帯人数×3,000ポイント（3,000円相当）を付与）

3 事業実施期間

- ・カタログ送付 令和6年 8月
- ・申込み・アンケート 令和6年 8月 ～ 令和6年12月16日
- ・商品発送 令和6年10月21日 ～ 令和7年 3月31日
- ・コールセンター 令和6年 6月15日 ～ 令和7年 3月31日

4 申込・商品発送状況

（1）申込実績

- ① 申込世帯数：380,395件
- ② 申込率：76.4%
- ③ 申込内訳：ハガキ42%、WEB58%

（2）商品発送実績

- ① 発送世帯数：218,817件
- ② 発送率：57.5%

（3）申込商品順位（上位5品目）

NO	商品名	申込数	ポイント
1	緊急簡易トイレ30回分	37,669	3,000
2	モバイルバッテリー	30,272	3,000
3	ほっ！トイレセット	28,206	3,000
4	ポータブルソーラー充電器7W	24,911	6,000
5	生活消耗紙セット	24,546	3,000

5 アンケート結果（WEB申込者のみ対象）

（１）回答数：２１０，７８９件

（２）回答率：９６％

※ 詳細は別紙のとおり

6 今後のスケジュール（予定）

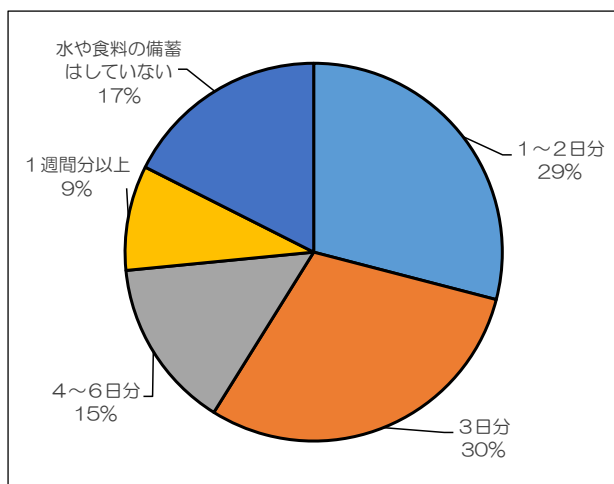
令和７年２月下旬 環境・災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
アンケート結果等（続報）報告

３月 商品配送完了、アンケート集計・分析結果公表

別紙 1

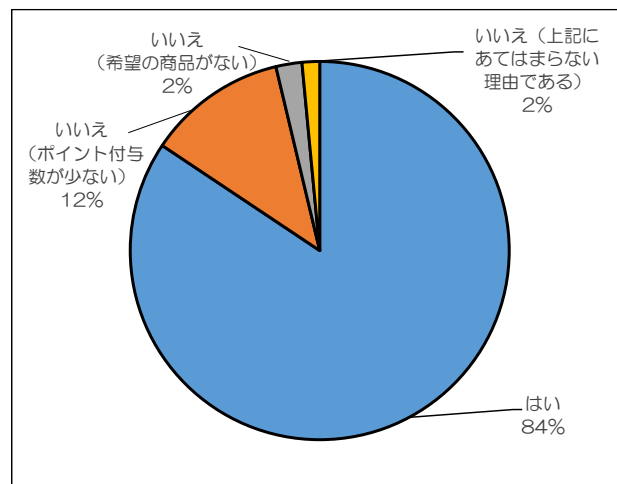
在宅避難支援事業におけるアンケート結果速報（令和7年1月24日時点）

【設問1】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。



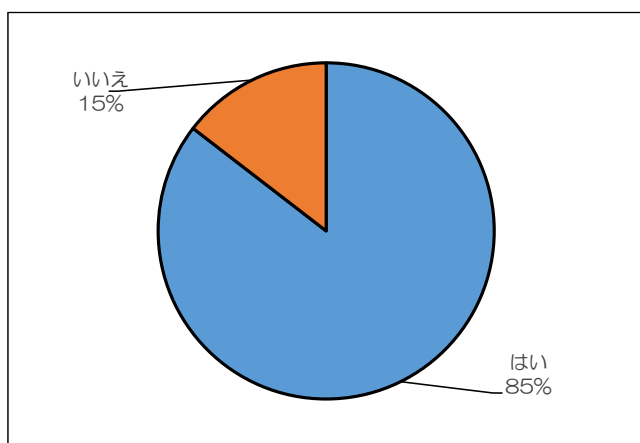
災害に備えて水や食料は何日分備蓄しているか聞いたところ、「1~2日分」が29%、「3日分以上」が54%、「水や食料の備蓄はしていない」が17%となっている。

【設問2】今回の事業は、家庭での防災意識を高めたり、備蓄を促すのに有効だと思いますか。



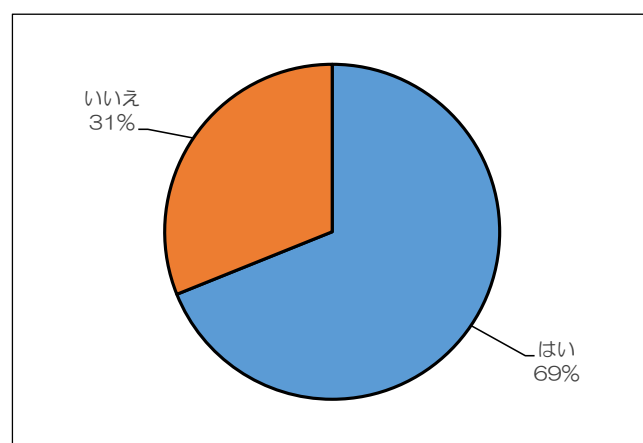
本事業が家庭での防災意識を高めたり、備蓄を促すのに有効か聞いたところ、「はい」が84%、「いいえ」が16%となっている。

【設問3】カタログだけでは足りないものを自分で購入しようと思いますか。



カタログだけでは足りないものを自分で購入しようと思うか聞いたところ、「はい」が85%、「いいえ」が15%となっている。

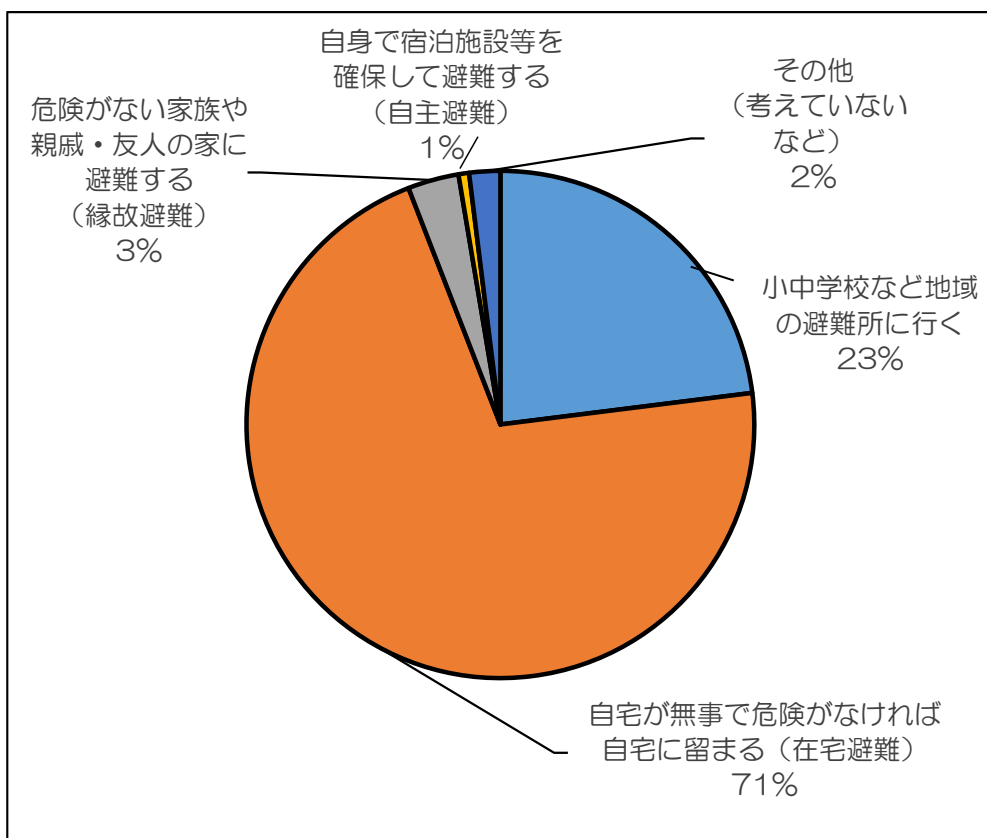
【設問4】あなたはマンションなどの集合住宅にお住まいですか。



マンションなどの集合住宅に住んでいるか聞いたところ、「はい」が69%、「いいえ」が31%となっている。

【設問 5】震度 6 強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

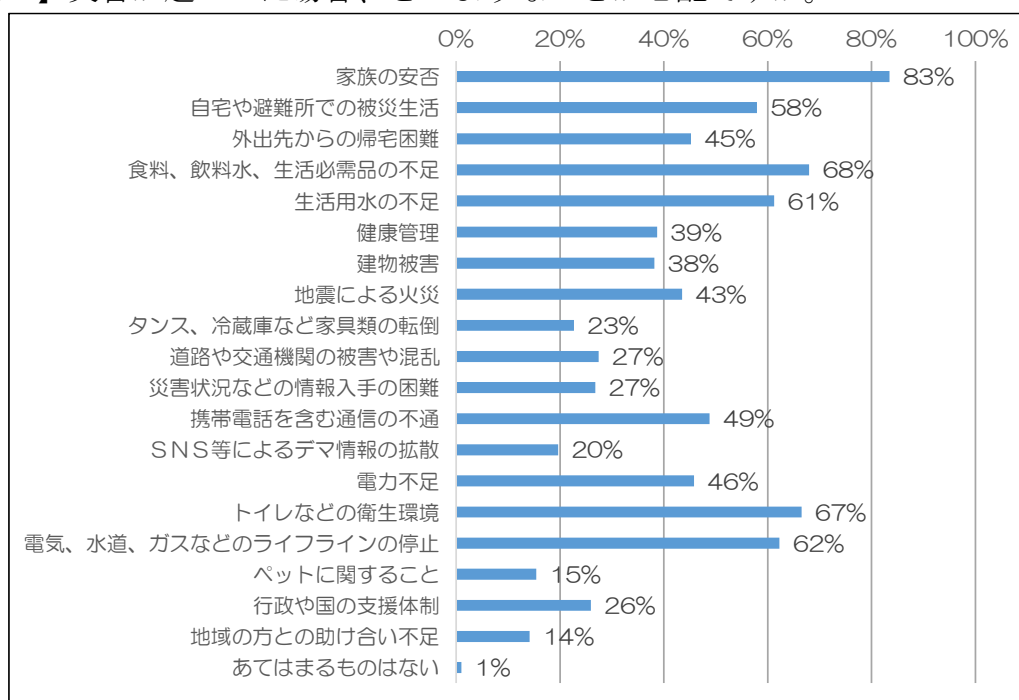
※



震度 6 強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとるか聞いたところ、「自宅が無事で危険がなければ自宅に留まる（在宅避難）」が 71%と最も多く、続いて「小中学校などの避難所に行く」が 23%となっている。

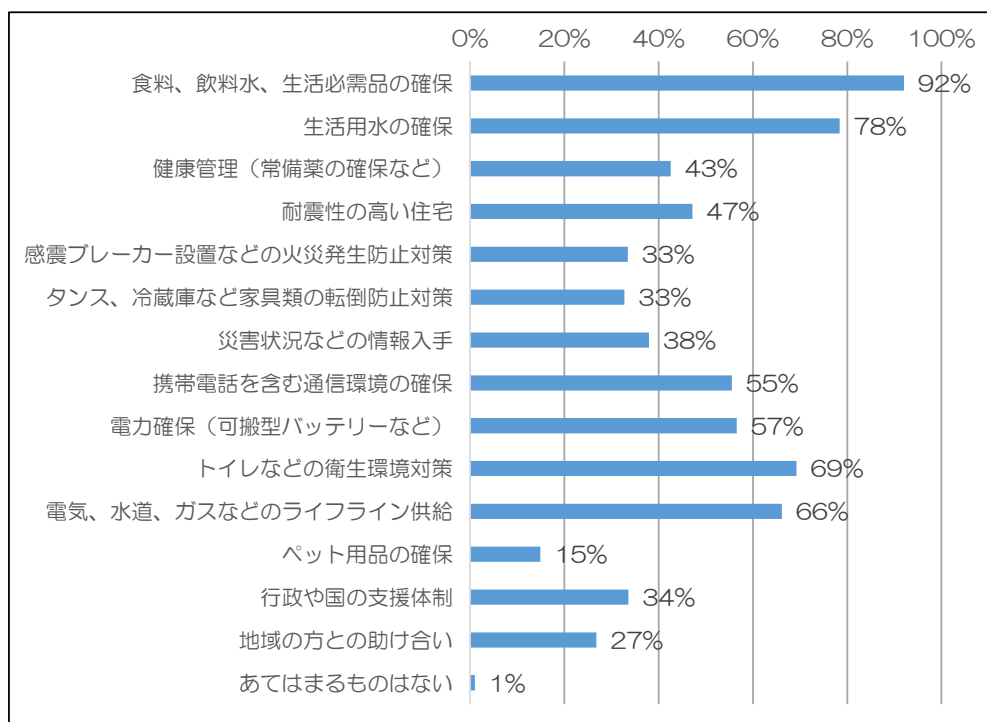
※ 以下、回答複数選択

【設問6】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。



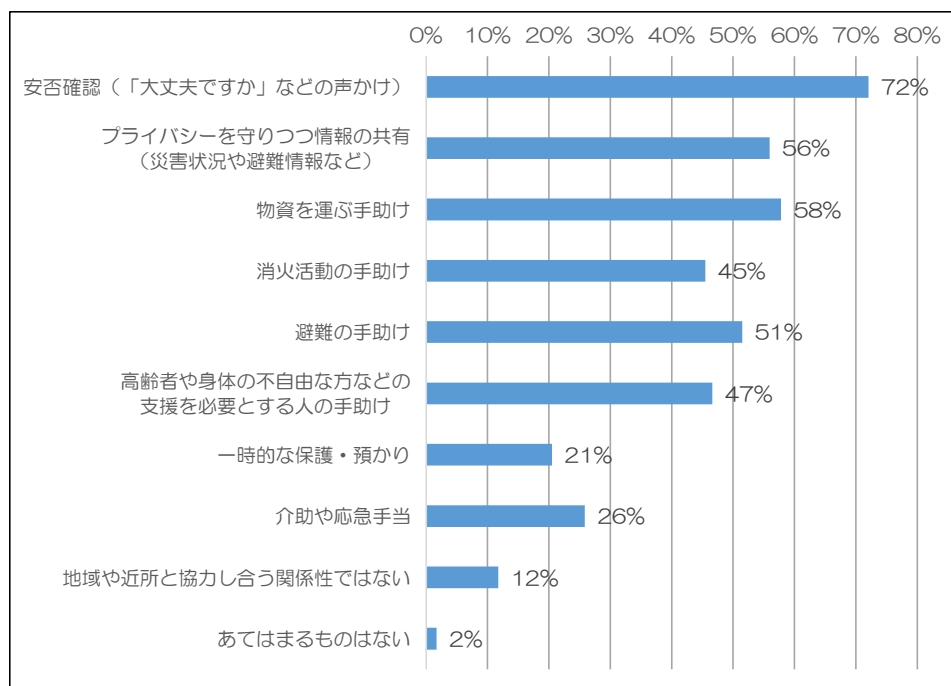
災害が起こった場合、どのようなことが心配か聞いたところ、「家屋の安否」が83%と最も多く、以下「食料、飲料水、生活必需品の不足」が68%、「トイレの衛生環境」が67%などとなっている。

【設問7】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。



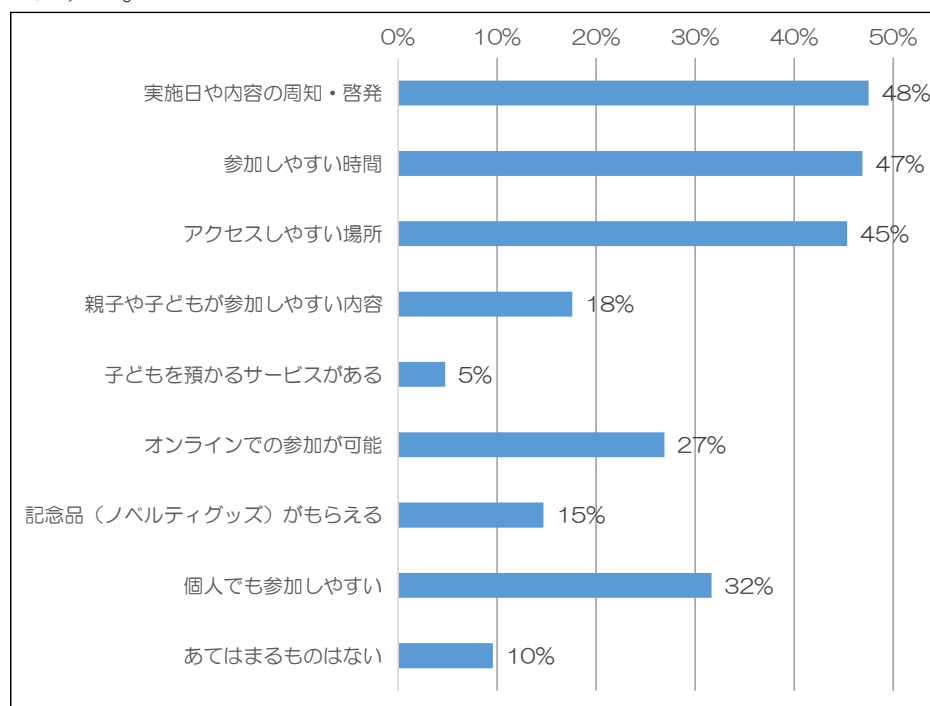
在宅避難をするためには、どのようなことが必要か聞いたところ、「食料、飲料水、生活必需品の確保」が92%と最も多く、以下「生活用水の確保」が78%、「トイレなどの衛生環境対策」が69%などとなっている。

【設問 8】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援（手助け）ができると思いますか。



災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援（手助け）ができると思うか聞いたところ、「安否確認（「大丈夫ですか」などの声掛け）」が 72%と最も多く、以下「物資を運ぶ手助け」が 58%、「プライバシーを守りつつ情報の共有（災害状況や避難情報など）」が 56%などとなっている。

【設問 9】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加しようと思いますか。



どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加しようと思うか聞いたところ、「実施日や内容の周知・啓発」が 48%と最も多く、以下「参加しやすい時間」が 47%、「アクセスしやすい場所」が 45%などとなっている。

別紙 2

居住実態別アンケート結果速報（令和 7 年 1 月 2 4 日時点）

- ・震度 6 強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

回答内容	集合住宅		集合住宅以外
自宅が無事で危険がなければ自宅に留まる（在宅避難）	<u>68.5%</u>	<	76.1%
小中学校など地域の避難所に行く	<u>24.3%</u>	>	19.9%

- ・災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援（手助け）ができると思いますか。

回答内容	集合住宅		集合住宅以外
安否確認（「大丈夫ですか」などの声かけ）	<u>69.0%</u>	<	79.5%
物資を運ぶ手助け	<u>57.2%</u>	<	59.8%
消火活動の手助け	<u>43.2%</u>	<	51.0%
一時的な保護・預かり	<u>19.0%</u>	<	24.1%
地域や近所と協力し合う関係性ではない	<u>13.7%</u>	>	7.5%